

区政への主な意見と回答 令和8年3月分

1 小学生からの子育て支援について

Q 杉並区では病児保育やベビーシッター補助など、未就学児が使える補助は充実していますが、小学生に上がったとたんそのような補助がなくなり、仕事と両立させるのが難しくなると聞きます。保育園より小学校の方が、突然の学級閉鎖などで親が長期休みを急に取らないといけない場面が増えるそうですが、ベビーシッター補助もないため1ヶ月の半分以上仕事を休んでしまったという知り合いもいます。

また、校門が開く時間も遅いため、親が家を出る時間より子どもが家を出る時間の方が遅く、先日まで保育園に通っていた子どもに鍵を持たせて朝の戸締りをさせる家庭もあると聞きます。小学校開門前の預かり事業をぜひお願いします。このままでは小学校入学以降、仕事が続けられなくなるかもしれないと非常に不安です。

A 杉並区では、子どもの居場所づくりの理念や基本的な視点、今後の取組の方向性などを盛り込んだ「杉並区子どもの居場所づくり基本方針」を令和7年1月に策定し、子どもの居場所づくりの取組を進めています。

この中で、小学校始業前の朝の居場所のニーズが高まっていることから、学校始業前の小学生的朝の居場所についての検討を進めていくことにしています。

現在、一部の小学校において学校始業前に「朝の居場所」事業を試行的に実施しているところですが、今後、この取組結果を踏まえ、実施校の拡大について検討していきます。

担当 児童青少年課／地域の学び推進課

2 給付金について

Q 生活保護受給者の中には依存等で、保護費を酒やギャンブル等に使ってしまう人もいと聞きました。

その防止策として、東京ポイントのように「杉並ポイント」といったポイント支給してみたいかでしょうか。ポイントを物価高対策として、毎月ポイント支給とすれば、少なくともギャンブルには使われず、酒代やタバコ代の様な嗜好品の節制へと繋がる気がします。ポイント支給にすることで、使用されたポイントに対しての税金の充当といった税金の無駄使いみたいなことも改善できるのではないかと思います。高齢者対策としては、年金の様に65歳以上は現金振込とすることもできるし、マイナンバーカード普及のために、マイナンバーカード所持者のみ支給することにしても良いのではないかと思います。

このところの物価高は生活保護費の増加の見込めない生保受給者の障害者の私にはとて

も厳しい現状です。物価高対策特別支給の機会を増やしてもらえないでしょうか。

A 杉並区では、物価高騰が長期化する中、区民の皆さまの生活を支えるため、限られた財源の中で、より多くの方にとって利用しやすく、かつ公平性の確保が図られる支援策について検討を行い、その結果、区民のどなたでも利用でき、かつ地域経済の活性化にも資する取組として、区内店舗での買い物等に利用できるキャッシュレス決済に対し、利用額の 20% 相当のポイントを還元する「キャッシュレスポイント還元事業」や、キャッシュレス決済を利用できない高齢者の方などへも配慮する観点から 20%のプレミアム分を付加した紙の商品券を販売する「プレミアム付商品券事業」を実施することとし、現在準備を進めております。

また、特に生活にお困りの方への支援として、「杉並区生活応援臨時給付金」についても併せて実施しており、こうした取組を確実に実施することで、区として現下の物価高への対策を図る考えです。

担当 企画課